

## 平成 30 年度（第 19 回）「民間部門農林水産研究開発功績者表彰」受賞者が発表になり、家畜改良技術研究所のグループが受賞しました

農林水産省及び公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会は、平成 30 年度（第 19 回）「民間部門農林水産研究開発功績者表彰」について、農林水産大臣賞をはじめ各賞受賞者を決定し、10 月 22 日にプレス発表されました。

当団受賞者

【農林水産技術会議会長賞 民間企業部門】

○肉用牛産肉形質のゲノミック評価技術及び評価実施体制の確立

黒木 一仁（一般社団法人家畜改良事業団） 荻野 敦（同） 野崎 隆義（同）

渡邊 敏夫（同） 小野木 章雄（元 一般社団法人家畜改良事業団）

〈業績概要〉

従来の遺伝的能力評価法（BLUP法）に一塩基多型（SNP）情報を付加した ssGBLUP法を用い、その有効性を検証しつつ、産肉能力のゲノミック評価法の確立を図った。この評価法は、血液や毛根があればSNP情報が得られることから、手軽に遺伝能力を推定できることや、きょうだい間の能力差を子牛の段階で推定できる。また、肉用牛の育種改良、優良雌牛の選定等において、本評価法を有効活用するための評価実施体制を構築し、育種改良団体や和牛繁殖農家等で広く利用されている。

概要は、農林水産技術会議ホームページご参照ください。

[http://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/181022\\_15.html](http://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/181022_15.html)